

LT 4400

マルチフォーマット ビデオジェネレータ

取扱説明書

(イーサーネット編)

目次

1.	はじめに.....	1
1.1	ネットワークについて.....	1
1.2	商標について.....	1
1.3	コントロール内容について.....	1
1.4	動作環境.....	1
2.	HTTP によるコントロール.....	2
2.1	操作方法.....	2
2.2	ブラウザ表示例.....	4
3.	TELNET によるコントロール.....	7
3.1	操作方法.....	7
3.2	コマンドの入力方法.....	9
3.3	コマンド一覧.....	11
4.	SNMP によるコントロール.....	36
4.1	操作方法.....	36
4.2	拡張 MIB.....	37
4.3	Specific Trap.....	43
4.4	Variable Binding List.....	43

1. はじめに

本書は、イーサネット端子を介する、LT 4400 のリモートコントロールについて説明したものです。その他の説明や注意事項については、LT 4400 の取扱説明書(本編)を参照してください。

1.1 ネットワークについて

LT 4400 のリモートコントロールは、ローカルネットワーク環境のみの動作確認をしています。いかなるネットワーク環境での動作を保証するものではありません。

1.2 商標について

記載されている会社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

1.3 コントロール内容について

LT 4400 でコントロールできる内容は、以下のとおりです。

表 1-1 リモートコントロール一覧表

	ACCESS MODE (※1)	本体の設定を確認	本体の設定を変更	本体のエラーを取得
HTTP	READ ONLY	○	×	×
	OFF (初期設定)	×	×	×
TELNET	ON	○	○	×
	READ ONLY	○	×	×
	OFF (初期設定)	×	×	×
SNMP	常に ON	○	△ (一部のみ可)	○

※1 HTTP および TELNET の ACCESS MODE は本体で設定できるほか、SNMP マネージャからの SET 操作でも設定できます。

SNMP の ACCESS MODE は常に ON ですが、ETHERNET の設定 (IP ADDRESS、SUBNET MASK、GATEWAY) を設定しなければ動作しません。(IP ADDRESS を 0.0.0.0 に設定すると SNMP は動作しません) また、SNMP Manager IP が設定されていない場合は、SNMP の TRAP は送信されません。

1.4 動作環境

●OS

- ・Microsoft Windows 2000
- ・Microsoft Windows XP professional Version 2002 Service Pack 2
- ・Microsoft Windows XP professional Version 2002 Service Pack 3

●web ブラウザ (HTTP のみ)

- ・Microsoft Internet Explorer 6
- ・Microsoft Internet Explorer 7
- ・Microsoft Internet Explorer 8
- ・Mozilla Firefox 3.6.8

●ケーブル

- ・クロスケーブル (本体と PC を直接接続する場合)
- ・ストレートケーブル (本体とハブを接続する場合)

2. HTTPによるコントロール

HTTP を使用して、web ブラウザ上で本体の設定を確認できます。また、表示されたデータは html や txt 等で PC に保存できます。(保存したデータを本体に送信することはできません)
HTTP によるコントロールは、一時的な利用に限定してください。

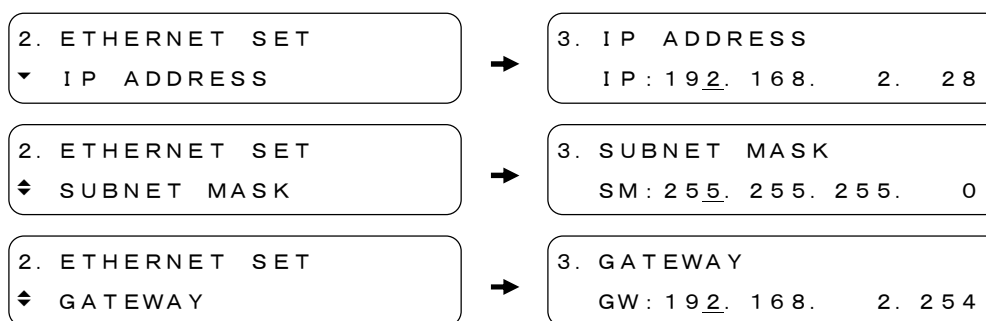
2.1 操作方法

1. 本体で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

設定は、UTILITY MENU の ETHERNET SET から行うことができます。

設定値は、必要に応じてネットワーク管理者に問い合わせてください。

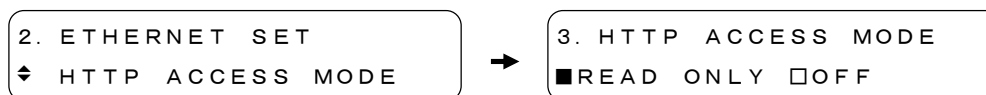
設定値は、電源を再投入したときに有効となります。



2. 本体で HTTP のアクセスモードを READ ONLY に設定します。

設定は、UTILITY MENU の ETHERNET SET から行うことができます。(SNMP マネージャからの SET 操作でも設定できます)

アクセスモードを変更した場合は、変更内容が SNMP マネージャへ TRAP で通知されます。
SNMP によるコントロールを使用するときは、OFF にしてください。



3. 本体の電源を再投入します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの値が有効になります。

4. 本体の ETHERNET 端子にケーブルを接続します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定した後は、速やかに ETHERNET 端子にケーブルを接続してください。

ETHERNET 端子にケーブルを接続せずに開放したままにしておくと、電源を入れた後の初期化に時間がかかる場合があります。

2. HTTP によるコントロール

- web ブラウザを起動して、アドレス欄に「http://(IP アドレス)」を入力します。
IP アドレスは「手順 1」で設定した値を入力します。



図 2-1 IP アドレスの入力

- ユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「LT4400」、パスワードは「LT4400」です。必ず大文字で入力してください。
なお、ユーザー名とパスワードを変更することはできません。



図 2-2 ユーザー名とパスワードの入力

- ブラウザ上に本体の設定が表示されます。
表示内容は次頁を参照してください。
本体の設定を変更しても、表示内容は自動更新されません。表示内容を更新するときは、画面右上の「Get Status」ボタンを押してください。

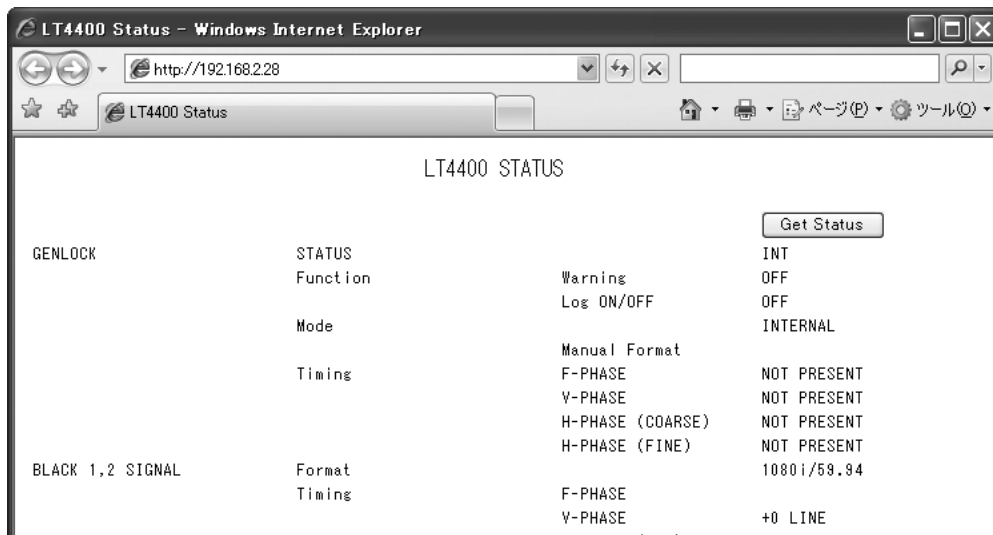
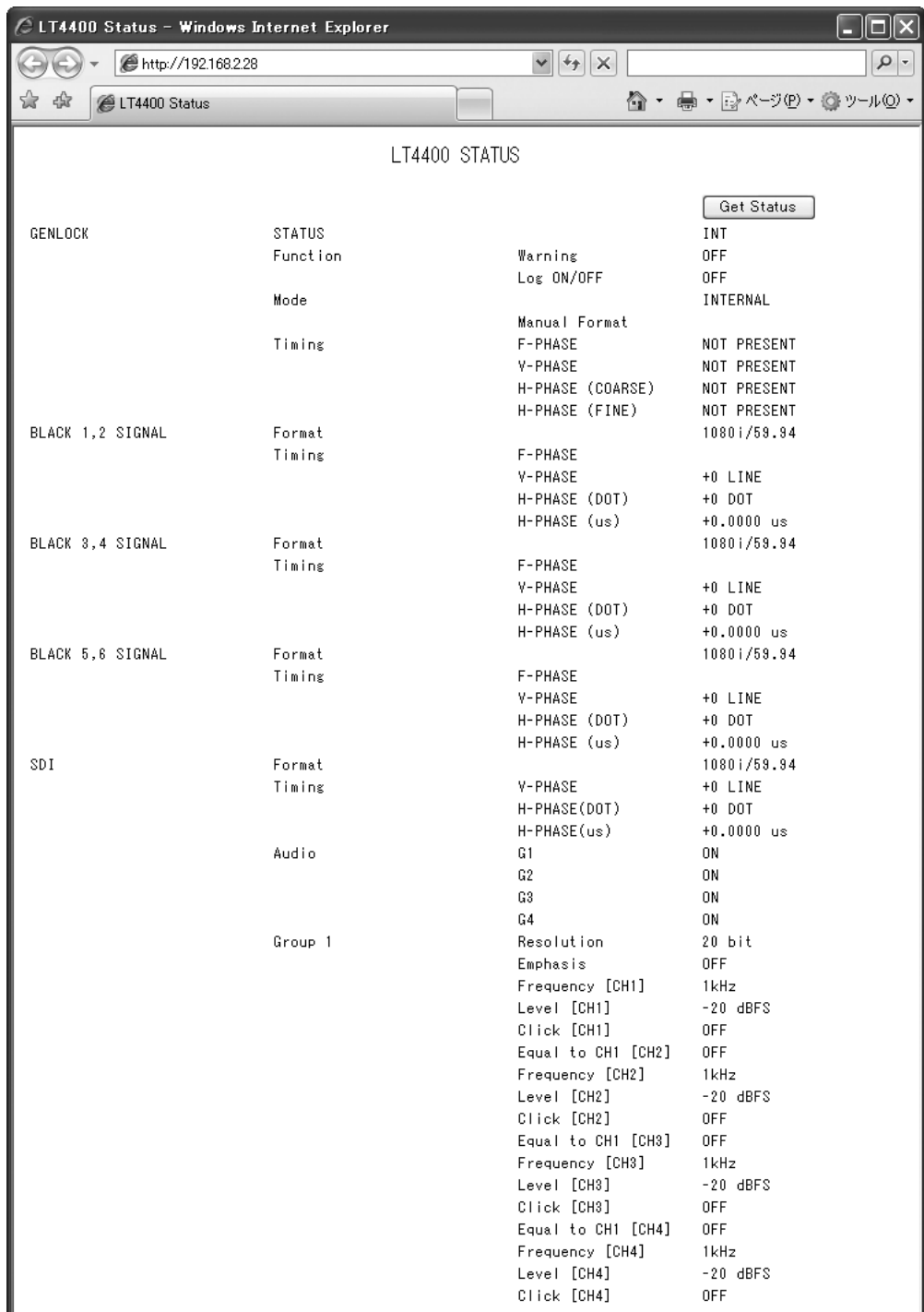


図 2-3 設定の表示

2.2 ブラウザ表示例

ブラウザ表示の一例を以下に示します。



2. HTTP によるコントロール

Group 2	Equal G1	OFF
	Resolution	20 bit
	Emphasis	OFF
	Frequency [CH5]	1kHz
	Level [CH5]	-20 dBFS
	Click [CH5]	OFF
	Equal to CH5 [CH6]	OFF
	Frequency [CH6]	1kHz
	Level [CH6]	-20 dBFS
	Click [CH6]	OFF
	Equal to CH5 [CH7]	OFF
	Frequency [CH7]	1kHz
	Level [CH7]	-20 dBFS
	Click [CH7]	OFF
	Equal to CH5 [CH8]	OFF
	Frequency [CH8]	1kHz
Level [CH8]	-20 dBFS	
Click [CH8]	OFF	
Group 3	Resolution	20 bit
	Emphasis	OFF
	Frequency [CH9]	1kHz
	Level [CH9]	-20 dBFS
	Click [CH9]	OFF
	Equal to CH9 [CH10]	OFF
	Frequency [CH10]	1kHz
	Level [CH10]	-20 dBFS
	Click [CH10]	OFF
	Equal to CH9 [CH11]	OFF
	Frequency [CH11]	1kHz
	Level [CH11]	-20 dBFS
Click [CH11]	OFF	
Equal to CH9 [CH12]	OFF	
Frequency [CH12]	1kHz	
Level [CH12]	-20 dBFS	
Click [CH12]	OFF	
Group 4	Equal G3	OFF
	Resolution	20 bit
	Emphasis	OFF
	Frequency [CH13]	1kHz
	Level [CH13]	-20 dBFS
	Click [CH13]	OFF
	Equal to CH13 [CH14]	OFF
	Frequency [CH14]	1kHz
	Level [CH14]	-20 dBFS
	Click [CH14]	OFF
	Equal to CH13 [CH15]	OFF
	Frequency [CH15]	1kHz
	Level [CH15]	-20 dBFS
	Click [CH15]	OFF
	Equal to CH13 [CH16]	OFF
	Frequency [CH16]	1kHz
Level [CH16]	-20 dBFS	
Click [CH16]	OFF	
Y,Cb,Cr	Y	ON
	Cb	ON
	Cr	ON
Safety Area	90%	OFF
	80%	OFF
	4:3	OFF
ID Character		LT4400<-
	Position H	0 DOT
	Position V	0 DOT
	Size	x1
	ID Level	100%
	ID Blink	OFF
	On Time	1 s
	Off Time	1 s
	ON/OFF	OFF

2. HTTP によるコントロール

	Logo	Position H	0 DOT
		Position V	0 DOT
		Level 3	3ACH (100%)
		Level 2	288H (66%)
		Level 1	184H (33%)
		Level 0	040H (0%)
		Background	OFF
		ON/OFF	OFF
		Internal Memory	NO DATA
	Pattern Scroll	Direction	UP and RIGHT
		Speed H	0 DOT
		Speed V	0 DOT
		ON/OFF	OFF
	Pattern Change	Speed	1 s
		ON/OFF	OFF
WCLK	Level		5V CMOS
	Timing		0
UTILITY	LCD	Brightness	HIGH
		Lighting Time	ALL
	Keylock		OFF
	PRESET/RECALL	Media	INT MEMORY
	PRESET INT MEMORY	Preset 0	NO DATA
		Preset 1	NO DATA
		Preset 2	NO DATA
		Preset 3	NO DATA
		Preset 4	NO DATA
		Preset 5	NO DATA
		Preset 6	NO DATA
		Preset 7	NO DATA
		Preset 8	NO DATA
		Preset 9	NO DATA
	PRESET EXT CARD	Preset 0	CARD NOT READY
		Preset 1	CARD NOT READY
		Preset 2	CARD NOT READY
		Preset 3	CARD NOT READY
		Preset 4	CARD NOT READY
		Preset 5	CARD NOT READY
		Preset 6	CARD NOT READY
		Preset 7	CARD NOT READY
		Preset 8	CARD NOT READY
		Preset 9	CARD NOT READY
	Power On Recall	ON/OFF	OFF
		Recall No	INT MEMORY 0
	Ethernet	IP Address	192.168.2.28
		Subnet mask	255.255.255.0
		Gateway	192.168.2.254
		Http Access	READ ONLY
		Telnet Access	OFF
	Date & Time After On		00000 days 00:00:35
	Date & Time		NOT ADJUST
	Version		LT4400 Ver 3.58

図 2-4 ブラウザ表示例

- ※ ID Character の文字列について
 ブラウザ表示では、「◀」を「<-」、「→」を「>」、「←」を「a」に置き換えて表示します。また、連続した空白がある場合は空白を 1 文字に省略し、先頭に空白がある場合は空白を省略して表示します。リモートコントロールで文字列を正確に確認したいときは、TELNET のコマンドを使用してください。

3. TELNET によるコントロール

TELNET を使用して、本体の設定と設定の確認ができます。
TELNET によるコントロールは、一時的な利用に限定してください。

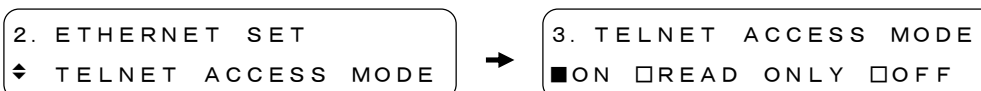
3.1 操作方法

1. 本体で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

設定は、UTILITY MENU の ETHERNET SET から行うことができます。
設定値は、必要に応じてネットワーク管理者に問い合わせてください。
設定値は、電源を再投入したときに有効となります。

2. 本体で TELNET のアクセスモードを ON に設定します。

設定は、UTILITY MENU の ETHERNET SET から行うことができます。(SNMP マネージャからの SET 操作でも設定できます)
アクセスモードを変更した場合は、変更内容が SNMP マネージャへ TRAP で通知されます。
SNMP によるコントロールを使用するときや、パネル操作中に TELNET によるコントロールが入るのを防ぎたい場合は、OFF にしてください。



3. 本体の電源を再投入します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの値が有効になります。

4. 本体の ETHERNET 端子にケーブルを接続します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定した後は、速やかに ETHERNET 端子にケーブルを接続してください。ETHERNET 端子にケーブルを接続せず、開放したままにしておくと、電源投入後の初期化に時間がかかる場合があります。

5. TELNET を起動します。

TELNET が起動すると、以下のように表示されます。
TELNET の起動に関しては、お使いの PC の取扱説明書をご覧ください。

login:

6. ログイン名を入力して Enter キーを押します。

ログイン名は「LT4400」です。必ず大文字で入力してください。
なお、ログイン名を変更することはできません。

login: LT4400

7. パスワードを入力して Enter キーを押します。

パスワードは「LT4400」です。必ず大文字で入力してください。
なお、パスワードを変更することはできません。

誤って入力した場合は[ctrl]+C(使用環境によっては、無効となることがあります)を入力することで、再度ログイン名から入力し直すことができます。

```
Password: *****
```

8. コマンドを入力します。

パスワードを入力すると、以下のようにコマンド入力画面が表示されます。

「3.2 コマンドの入力方法」「3.3 コマンド一覧」を参照してコマンドを入力してください。

5 分間コマンドを入力しないでいると、タイムアウトになり通信は終了します。
そのときは、再度ログインから行ってください。

```
LT4400>
```

● 通信中の注意

通信中は本体のパネル操作ができません。また、本体の LCD、LED 表示が不定となります。
TELNET 通信中に本体のいずれかのキーを押すと、以下のように表示されます。

```
NETWORK CONTROLLED  
PLEASE WAIT LOGOFF
```

通信中に本体の電源を切り、再び入れた場合は通信ができません。通信を再開したいときは、再度ログインから行ってください。

● 制御優先順位について

TELNET ACCESS MODE が ON または READ ONLY の場合、ETHERNET リモートコントロールとパネル操作の制御優先順位は、以下のようになっています。

SNMP ≧ TELNET > パネル操作

通信中であっても SNMP のコマンドは受け付けます。

たとえば通信中に SNMP のコマンドでキーロックの解除をすると、コマンドは受け付けませんが制御優先順位があるため、上記のように表示されます。通信を終了すると、すでにキーロックが解除されていますので、パネル操作を受け付けます。

TELNET ACCESS MODE が OFF の場合、ETHERNET リモートコントロールとパネル操作の制御優先順位は以下のようになり、TELNET は使用できません。

SNMP ≧ パネル操作

● 通信の終了

通信を終了するには、[ctrl]+D(使用環境によっては、無効となることがあります)、「bye」、「logout」のいずれかを入力してください。

[ctrl]+D の場合は、入力した時点で通信が終了します。

「bye」または「logout」の場合は、入力後に Enter キーを押してください。

通信を再開したい場合は、再度ログインから行ってください。

3.2 コマンドの入力方法

本器は LT 443D の TELNET コマンドに相似したコマンドを使用することができます。そのため、同じ設定で 2 つのコマンドが存在することがあります。(たとえば BLACK1, 2 の出力フォーマットを設定するコマンドは BLACK12:FORMAT と BB12 がありますが、同じ働きをします)

ここでは以下の 4 つのケースに分けて、送信コマンドの入力方法と応答コマンドの形式について説明します。

なお、LT 443D の TELNET コマンドに相似したコマンドは、「3.3 コマンド一覧」のなかで「(LT 443D 相似コマンド)」と表記しています。

- ・通常コマンドで本器の設定をするとき
- ・通常コマンドで本器の問い合わせをするとき
- ・LT 443D 相似コマンドで本器の設定をするとき
- ・LT 443D 相似コマンドで本器の問い合わせをするとき

● コマンド入力時の注意

コマンドと送信パラメータの書式(大文字・小文字)は、「3.3 コマンド一覧」に従ってください。本器は大文字と小文字を区別します。

コマンドのマルチステートメント入力はできません。

「3.3 コマンド一覧」の設定範囲は、入力フォーマットや入力パターンによって異なる場合があります。詳しくは取扱説明書の各項目を参照してください。

また、コマンドや送信パラメータがエラーのときは、応答コマンドにエラーメッセージが表示されます。

● 通常コマンドで本器の設定をするとき

送信コマンド

```
LT4400>[コマンド] + [半角スペース] + [送信パラメータ]
```

応答コマンド

```
OK
```

例：90%セーフティマーカを表示する

```
LT4400>SDI:SAFETY:90% ON
```

```
OK
```

● LT 443D 相似コマンドで本器の設定をするとき

送信コマンド

```
LT4400>[コマンド] + [半角スペース] + [送信パラメータ]
```

応答コマンド

```
OK
```

例：90%セーフティマーカを表示する

```
LT4400>SF90 1
```

```
OK
```

3. TELNET によるコントロール

- 通常コマンドで本器の問い合わせをするとき

送信コマンド

```
LT4400>[コマンド] + [半角スペース] + [?]
```

応答コマンド

```
[コマンド] + [半角スペース] + [応答パラメータ]
```

例：90%セーフティマーカを表示するかどうか問い合わせ

```
LT4400>SDI:SAFETY:90% ?  
SDI:SAFETY:90% ON
```

- LT 443D 相似コマンドで本器の問い合わせをするとき

送信コマンド

```
LT4400>[コマンド] + [?]
```

応答コマンド

```
[コマンド] + [:] + [応答パラメータ]
```

例：90%セーフティマーカを表示するかどうか問い合わせ

```
LT4400>SF90?  
SF90:1
```

3.3 コマンド一覧

表中の応答パラメータは、代表的なもののみを記載しています。このほかに、以下のパラメータが表示される場合があります。

UNKNOWN COMMAND、ERROR、OUT OF RANGE、PARAMETER ERROR、FILE TYPE ERROR、FILE NOT FOUND、DEVICE NOT READY、FILE OPEN ERROR、MEDIA TYPE UNKNOWN、NOT FOUND PRESET DIR、DATE MISSING、TIME MISSING、ALL 24bit RESOLUTION

表 3-1 前面パネルのコマンド

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
SDIPA (LT 443D 相似コマンド)	0	OK	出力パターンを COLOR BAR 100%に設定
	1	OK	出力パターンを COLOR BAR 75%に設定
		ERROR	625i/50 のとき、出力パターンを COLOR BAR 75%に設定
	2	OK	出力パターンを MULTI COLOR BAR 100%に設定
		ERROR	SD のとき、出力パターンを MULTI COLOR BAR 100%に設定
	3	OK	出力パターンを MULTI COLOR BAR 75%に設定
		ERROR	SD のとき、出力パターンを MULTI COLOR BAR 75%に設定
	4	OK	出力パターンを MULTI COLOR BAR (+I)に設定
		ERROR	SD のとき、出力パターンを MULTI COLOR BAR (+I)に設定
	5	OK	出力パターンを SMPTE COLOR BAR に設定
		ERROR	HD または 625i/50 のとき、出力パターンを SMPTE COLOR BAR に設定
	6	OK	出力パターンを EBU COLOR BAR に設定
		ERROR	HD または 525i/59.94 のとき、出力パターンを EBU COLOR BAR に設定
	7	OK	出力パターンを BBC COLOR BAR に設定
		ERROR	HD または 525i/59.94 のとき、出力パターンを BBC COLOR BAR に設定
	8	OK	出力パターンを CHECK FIELD に設定 (※1)
		OPERATION IS INVALID	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを CHECK FIELD に設定
1000	ERROR	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを COLOR BAR 100%に設定	
1001	ERROR	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを COLOR BAR 75%に設定	
1002	ERROR	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを MULTI COLOR BAR 100%に設定	
1003	ERROR	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを MULTI COLOR BAR 75%に設定	
1004	ERROR	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを MULTI COLOR BAR (+I)に設定	
1005	ERROR	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを SMPTE COLOR BAR	

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
			に設定
	1006	ERROR	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを EBU COLOR BAR に設定
	1007	ERROR	LIPSYNC が ON のとき、出力パターンを BBC COLOR BAR に設定
	?	送信パラメータ 参照	出力パターンを問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
BLACK12:FORMAT	1080i/60	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080i/60 に設定
	1080i/59.94	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080i/59.94 に設定
	1080i/50	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080i/50 に設定
	1080p/30	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/30 に設定
	1080p/29.97	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/29.97 に設定
	1080p/25	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/25 に設定
	1080p/24	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/24 に設定
	1080p/23.98	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/23.98 に設定
	1080PsF/24	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080PsF/24 に設定
	1080PsF/23.98	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
	720p/60	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/60 に設定
	720p/59.94	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/59.94 に設定
	720p/50	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/50 に設定
	720p/30	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/30 に設定
	720p/29.97	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/29.97 に設定
	720p/25	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/25 に設定
	720p/24	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/24 に設定
	720p/23.98	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/23.98 に設定
	NTSC_BB	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB に設定
	NTSC_BB+REF	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+REF に設定
	NTSC_BB+ID	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+ID に設定
	NTSC_BB+REF+ID	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+REF+ID に設定
	NTSC_BB+SETUP	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+SETUP に設定
	NTSC_BB+S+REF	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+S+REF に設定
	NTSC_BB+S+ID	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+S+ID に設定
	NTSC_BB+S+R+ID	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+S+R+ID に設定
	525i/59.94	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定
	525p/59.94	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 525p/59.94 に設定
	PAL_BB	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを PAL BB に設定
	PAL_BB+REF	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを PAL BB+REF に設定
	625i/50	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 625i/50 に設定
	625p/50	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 625p/50 に設定
	?	送信パラメータ 参照	BLACK1, 2 の出力フォーマットを問い合わせ
BB12 (LT 443D 相似コマンド)	0	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080i/60 に設定
	1	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080i/59.94 に設定
	2	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080i/50 に設定

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	3	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/30 に設定
	4	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/29.97 に設定
	5	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/25 に設定
	6	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/24 に設定
	7	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080p/23.98 に設定
	8	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080PsF/24 に設定
	9	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
	20	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/60 に設定
	21	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/59.94 に設定
	22	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/50 に設定
	23	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/30 に設定
	24	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/29.97 に設定
	25	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/25 に設定
	26	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/24 に設定
	27	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 720p/23.98 に設定
	30	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB に設定
	31	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+REF に設定
	32	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+ID に設定
	33	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+REF+ID に設定
	34	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+SETUP に設定
	35	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+S+REF に設定
	36	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+S+ID に設定
	37	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを NTSC BB+S+R+ID に設定
	38	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定
	39	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 525p/59.94 に設定
	40	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを PAL BB に設定
	41	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを PAL BB+REF に設定
	42	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 625i/50 に設定
	43	OK	BLACK1, 2 の出力フォーマットを 625p/50 に設定
	?	送信パラメータ 参照	BLACK1, 2 の出力フォーマットを問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
BLACK34:FORMAT	1080i/60	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080i/60 に設定
	1080i/59.94	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080i/59.94 に設定
	1080i/50	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080i/50 に設定
	1080p/30	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/30 に設定
	1080p/29.97	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/29.97 に設定
	1080p/25	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/25 に設定
	1080p/24	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/24 に設定
	1080p/23.98	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/23.98 に設定
	1080PsF/24	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080PsF/24 に設定
	1080PsF/23.98	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
	720p/60	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/60 に設定
	720p/59.94	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/59.94 に設定
	720p/50	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/50 に設定

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	720p/30	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/30 に設定
	720p/29.97	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/29.97 に設定
	720p/25	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/25 に設定
	720p/24	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/24 に設定
	720p/23.98	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/23.98 に設定
	NTSC_BB	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB に設定
	NTSC_BB+REF	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+REF に設定
	NTSC_BB+ID	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+ID に設定
	NTSC_BB+REF+ID	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+REF+ID に設定
	NTSC_BB+SETUP	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+SETUP に設定
	NTSC_BB+S+REF	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+S+REF に設定
	NTSC_BB+S+ID	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+S+ID に設定
	NTSC_BB+S+R+ID	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+S+R+ID に設定
	525i/59.94	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定
	525p/59.94	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 525p/59.94 に設定
	PAL_BB	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを PAL BB に設定
	PAL_BB+REF	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを PAL BB+REF に設定
	625i/50	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 625i/50 に設定
	625p/50	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 625p/50 に設定
	?	送信パラメータ 参照	BLACK3, 4 の出力フォーマットを問い合わせ
BB34 (LT 443D 相似コマンド)	0	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080i/60 に設定
	1	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080i/59.94 に設定
	2	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080i/50 に設定
	3	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/30 に設定
	4	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/29.97 に設定
	5	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/25 に設定
	6	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/24 に設定
	7	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080p/23.98 に設定
	8	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080PsF/24 に設定
	9	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
	20	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/60 に設定
	21	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/59.94 に設定
	22	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/50 に設定
	23	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/30 に設定
	24	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/29.97 に設定
	25	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/25 に設定
	26	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/24 に設定
	27	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 720p/23.98 に設定
	30	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB に設定
	31	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+REF に設定
32	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+ID に設定	
33	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+REF+ID に設定	
34	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+SETUP に設定	

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	35	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+S+REF に設定
	36	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+S+ID に設定
	37	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを NTSC BB+S+R+ID に設定
	38	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定
	39	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 525p/59.94 に設定
	40	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを PAL BB に設定
	41	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを PAL BB+REF に設定
	42	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 625i/50 に設定
	43	OK	BLACK3, 4 の出力フォーマットを 625p/50 に設定
	?	送信パラメータ 参照	BLACK3, 4 の出力フォーマットを問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
BLACK56:FORMAT	1080i/60	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080i/60 に設定
	1080i/59.94	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080i/59.94 に設定
	1080i/50	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080i/50 に設定
	1080p/30	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/30 に設定
	1080p/29.97	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/29.97 に設定
	1080p/25	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/25 に設定
	1080p/24	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/24 に設定
	1080p/23.98	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/23.98 に設定
	1080PsF/24	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080PsF/24 に設定
	1080PsF/23.98	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
	720p/60	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/60 に設定
	720p/59.94	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/59.94 に設定
	720p/50	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/50 に設定
	720p/30	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/30 に設定
	720p/29.97	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/29.97 に設定
	720p/25	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/25 に設定
	720p/24	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/24 に設定
	720p/23.98	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/23.98 に設定
	NTSC_BB	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB に設定
	NTSC_BB+REF	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+REF に設定
	NTSC_BB+ID	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+ID に設定
	NTSC_BB+REF+ID	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+REF+ID に設定
	NTSC_BB+SETUP	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+SETUP に設定
	NTSC_BB+S+REF	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+S+REF に設定
	NTSC_BB+S+ID	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+S+ID に設定
	NTSC_BB+S+R+ID	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+S+R+ID に設定
	525i/59.94	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定
	525p/59.94	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 525p/59.94 に設定
	PAL_BB	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを PAL BB に設定
	PAL_BB+REF	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを PAL BB+REF に設定
	625i/50	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 625i/50 に設定
	625p/50	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 625p/50 に設定
	?	送信パラメータ	BLACK5, 6 の出力フォーマットを問い合わせ

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
		参照	
BB56 (LT 443D 相似コマンド)	0	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080i/60 に設定
	1	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080i/59.94 に設定
	2	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080i/50 に設定
	3	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/30 に設定
	4	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/29.97 に設定
	5	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/25 に設定
	6	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/24 に設定
	7	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080p/23.98 に設定
	8	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080PsF/24 に設定
	9	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
	20	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/60 に設定
	21	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/59.94 に設定
	22	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/50 に設定
	23	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/30 に設定
	24	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/29.97 に設定
	25	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/25 に設定
	26	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/24 に設定
	27	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 720p/23.98 に設定
	30	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB に設定
	31	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+REF に設定
	32	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+ID に設定
	33	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+REF+ID に設定
	34	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+SETUP に設定
	35	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+S+REF に設定
	36	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+S+ID に設定
	37	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを NTSC BB+S+R+ID に設定
	38	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定
	39	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 525p/59.94 に設定
	40	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを PAL BB に設定
	41	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを PAL BB+REF に設定
42	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 625i/50 に設定	
43	OK	BLACK5, 6 の出力フォーマットを 625p/50 に設定	
	?	送信パラメータ 参照	BLACK5, 6 の出力フォーマットを問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
SDI:FORMAT	1080i/60	OK	SDI の出力フォーマットを 1080i/60 に設定
	1080i/59.94	OK	SDI の出力フォーマットを 1080i/59.94 に設定
	1080i/50	OK	SDI の出力フォーマットを 1080i/50 に設定
	1080p/30	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/30 に設定
	1080p/29.97	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/29.97 に設定
	1080p/25	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/25 に設定
	1080p/24	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/24 に設定
	1080p/23.98	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/23.98 に設定
	1080PsF/24	OK	SDI の出力フォーマットを 1080PsF/24 に設定

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	1080PsF/23.98	OK	SDI の出力フォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
	720p/60	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/60 に設定
	720p/59.94	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/59.94 に設定
	720p/50	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/50 に設定
	720p/30	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/30 に設定
	720p/29.97	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/29.97 に設定
	720p/25	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/25 に設定
	720p/24	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/24 に設定
	720p/23.98	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/23.98 に設定
	525i/59.94	OK	SDI の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定
		ALL 24bit RESOLUTION	すべてのオーディオグループが 24 ビットで出力されているとき、SDI の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定 (※2)
		625i/50	OK
	?	送信パラメータ参照	SDI の出力フォーマットを問い合わせ
SDIFM (LT 443D 相似コマンド)	0	OK	SDI の出力フォーマットを 1080i/60 に設定
	1	OK	SDI の出力フォーマットを 1080i/59.94 に設定
	2	OK	SDI の出力フォーマットを 1080i/50 に設定
	3	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/30 に設定
	4	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/29.97 に設定
	5	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/25 に設定
	6	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/24 に設定
	7	OK	SDI の出力フォーマットを 1080p/23.98 に設定
	8	OK	SDI の出力フォーマットを 1080PsF/24 に設定
	9	OK	SDI の出力フォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
	20	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/60 に設定
	21	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/59.94 に設定
	22	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/50 に設定
	23	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/30 に設定
	24	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/29.97 に設定
	25	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/25 に設定
	26	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/24 に設定
	27	OK	SDI の出力フォーマットを 720p/23.98 に設定
	30	OK	SDI の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定
		ALL 24bit RESOLUTION	すべてのオーディオグループが 24 ビットで出力されているとき、SDI の出力フォーマットを 525i/59.94 に設定 (※2)
40	OK	SDI の出力フォーマットを 625i/50 に設定	
	?	送信パラメータ参照	SDI の出力フォーマットを問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)

※1 出力パターンが CHECK FIELD のとき、エンベデッドオーディオ、各種セーフティエリアマーカ、ID キャラクタ、ロゴマークは重畳されません。また、パターンスクロールは機能しません。

※2 出力フォーマットが 525i/59.94 のときは、すべてのオーディオグループ(16ch)を 24 ビットで出力でき

3. TELNET によるコントロール

ません。エラーメッセージが表示されたときは、分解能を 20 ビットにするか、オーディオ信号の出力を 1 グループ以上オフにしてください。

表 3-2 UTILITY コマンド

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
UTILITY:LCD_BRIGHTNESS	HIGH	OK	LCD バックライトの明るさを強に設定
	MID	OK	LCD バックライトの明るさを中に設定
	LOW	OK	LCD バックライトの明るさを弱に設定
	OFF	OK	LCD バックライトを消灯する
	?	送信パラメータ 参照	LCD バックライトの明るさを問い合わせ
UTILITY:LCD_LIGHT_TIME	ALL	OK	LCD バックライトの点灯時間を常時に設定
	1~10	OK	LCD バックライトの点灯時間を設定 [sec]
	?	送信パラメータ 参照	LCD バックライトの点灯時間を問い合わせ
UTILITY:KEY_LOCK	?	OFF	キーロックの動作状態を問い合わせ
		ON	
UTILITY:MEDIA	INT	OK	プリセットに使用するメディアを内部メモリーに設定
	EXT	OK	プリセットに使用するメディアを外部メモリーに設定
	?	送信パラメータ 参照	メディアの種類を問い合わせ
UTILITY:RECALL_NUMBER	0~9	OK	プリセットの呼び出し
		FILE NOT FOUND	NO DATA のプリセットを呼び出し
		DEVICE NOT READY	外部メモリーが接続されていないときに、プリセット を呼び出し
UTILITY:PRESET_NUMBER	0~9	OK	プリセットの保存 (※1)
		DEVICE NOT READY	外部メモリーが接続されていないときに、プリセット を保存
		OPERATION IS INVALID	LIPSYNC が ON のときに、プリセットを保存
UTILITY:POWER_ON_RECALL	OFF	OK	電源を入れたときの設定をラストメモリーに設定
	ON	OK	電源を入れたときの設定をプリセットに設定
	?	送信パラメータ 参照	電源を入れたときの設定を問い合わせ
UTILITY:POWER_ON_RECALL_NUMBER	INT0~INT9	OK	電源を入れたときの内部プリセット番号を設定 (※2)
		FILE NOT FOUND	NO DATA のプリセット番号を設定
	?	(INT) 0~ (INT) 9	電源を入れたときのプリセット番号を問い合わせ
UTILITY:DATE_TIME_AFTER_ON	?	***** days **: **:**	電源を入れてからの経過時間を問い合わせ
UTILITY:DATE_TIME_ADJUST	****/**/** **: **:**	OK	日時を設定
	?	送信パラメータ 参照	日時を問い合わせ
UTILITY:VER	?	LT4400	機種名とバージョンを問い合わせ

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
		Ver *.* ** LT4400-70 Ver *.* **	
VR (LT 443D 相似コマンド)	?	LT4400 V*.* ** LT4400-70 V*.* **	機種名とバージョンを問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
MO (LT 443D 相似コマンド)	?	LT4400 LT4400-70	機種名を問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
FAN (LT 443D 相似コマンド)	?	-	ファンの動作状態を問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
		0	正常
		1	異常

※1 すでにプリセットが存在している場合、上書きされます。上書き確認のメッセージは表示されません。

※2 TELNET では、電源を入れたときのプリセット番号は INT0～INT9 のみとなります。

3. TELNET によるコントロール

表 3-3 GENLOCK コマンド

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
GL:WARNING	OFF	OK	ロック周波数の警告を表示しない
	ON	OK	ロック周波数の警告を表示する
	?	送信パラメータ 参照	ロック周波数の警告を表示するかどうか問い合わせ
GL:LOG	OFF	OK	ゲンロックのログを記録しない
	ON	OK	ゲンロックのログを記録する
	?	送信パラメータ 参照	ゲンロックのログを記録するかどうか問い合わせ
GL:LOG_DISP	?	ログを表示	記録したログを問い合わせ
GL:LOG_SAVE	0~9	OK	外部メモリーにログを保存 (※1)
		DEVICE NOT READY	外部メモリーが接続されていないときに、ログを保存
GL:MODE	INT	OK	ゲンロックモードを INTERNAL に設定
	AUTO_INT	OK	ゲンロックモードを AUTO (GO INTERNAL) に設定
	MANU_INT	OK	ゲンロックモードを MANUAL (GO INT) に設定 (※2)
	AUTO_STAY	OK	ゲンロックモードを AUTO (STAYinSYNC) に設定
	MANU_STAY	OK	ゲンロックモードを MANUAL (STAYinSYNC) に設定 (※2)
	?	送信パラメータ 参照	ゲンロックモードを問い合わせ
GL:MODE:MANUAL_FORMAT	1125i/60	OK	マニュアルフォーマットを 1125i/60 に設定
	1125i/59.94	OK	マニュアルフォーマットを 1125i/59.94 に設定
	1125i/50	OK	マニュアルフォーマットを 1125i/50 に設定
	1125p/30	OK	マニュアルフォーマットを 1125p/30 に設定
	1125p/29.97	OK	マニュアルフォーマットを 1125p/29.97 に設定
	1125p/25	OK	マニュアルフォーマットを 1125p/25 に設定
	1125p/24	OK	マニュアルフォーマットを 1125p/24 に設定
	1125p/23.98	OK	マニュアルフォーマットを 1125p/23.98 に設定
	1125PsF/24	OK	マニュアルフォーマットを 1125PsF/24 に設定
	1125PsF/23.98	OK	マニュアルフォーマットを 1125PsF/23.98 に設定
	750p/60	OK	マニュアルフォーマットを 750p/60 に設定
	750p/59.94	OK	マニュアルフォーマットを 750p/59.94 に設定
	750p/50	OK	マニュアルフォーマットを 750p/50 に設定
	750p/30	OK	マニュアルフォーマットを 750p/30 に設定
	750p/29.97	OK	マニュアルフォーマットを 750p/29.97 に設定
	750p/25	OK	マニュアルフォーマットを 750p/25 に設定
	750p/24	OK	マニュアルフォーマットを 750p/24 に設定
	750p/23.98	OK	マニュアルフォーマットを 750p/23.98 に設定
	NTSC_BB	OK	マニュアルフォーマットを NTSC BB に設定
	NTSC_BB+REF	OK	マニュアルフォーマットを NTSC BB+REF に設定
	NTSC_BB+ID	OK	マニュアルフォーマットを NTSC BB+ID に設定
	NTSC_BB+REF+ID	OK	マニュアルフォーマットを NTSC BB+REF+ID に設定
	525i/59.94	OK	マニュアルフォーマットを 525i/59.94 に設定
	525p/59.94	OK	マニュアルフォーマットを 525p/59.94 に設定

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	PAL_BB	OK	マニュアルフォーマットを PAL_BB に設定
	PAL_BB+REF	OK	マニュアルフォーマットを PAL_BB+REF に設定
	625i/50	OK	マニュアルフォーマットを 625i/50 に設定
	625p/50	OK	マニュアルフォーマットを 625p/50 に設定
	?	送信パラメータ 参照	マニュアルフォーマットを問い合わせ (※3)
GL:TIMING:F	?	±5	ゲンロックタイミングを問い合わせ [フレーム]
		ERROR	ゲンロックモードが INTERNAL のときに問い合わせ または、INTERNAL 以外で無入力の際に問い合わせ
GL:TIMING:V	?	±1125	垂直方向のゲンロックタイミングを問い合わせ [ライン]
		ERROR	ゲンロックモードが INTERNAL のときに問い合わせ または、INTERNAL 以外で無入力の際に問い合わせ
GL:TIMING:H_COARSE	?	±32.0000 (max) (0.0741 ステップ) (※4)	水平方向のゲンロックタイミング [COARSE] を問い合わせ [μs]
		ERROR	ゲンロックモードが INTERNAL のときに問い合わせ または、INTERNAL 以外で無入力の際に問い合わせ
GL:TIMING:H_FINE	?	±100	水平方向のゲンロックタイミング [FINE] を問い合わせ
		ERROR	ゲンロックモードが INTERNAL のときに問い合わせ または、INTERNAL 以外で無入力の際に問い合わせ
GE (LT 443D 相似コマンド)	?	-	ゲンロックの動作状態を問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
		0	INT or STAY in SYNC
		1	EXT

- ※1 すでにログが存在している場合、上書きされます。上書き確認のメッセージは表示されません。
- ※2 ゲンロックモードを MANUAL に設定した場合は、必ず「GL:MODE:MANUAL_FORMAT」コマンドでフォーマットを指定してください。
- ※3 フォーマットを応答するのは、ゲンロックモードが MANUAL のときです。その他のモードでは、通常「OK」を応答します。
- ※4 ±32.0000 は最大値を示し、入力フォーマットによって異なる値となります。詳細は本体の取扱説明書を参照してください。
0.0741 は四捨五入した値で、実際は 1/13.5 (=0.074074074...) ステップとなります。

表 3-4 BLACK コマンド

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
BLACK12:TIMING:F-PHASE	±5 (※1)	OK	BLACK1, 2 のタイミングを設定 [フレーム]
		ERROR	HD または 525i/59.94、525p/59.94、625i/50、625p/50 のときに、BLACK1, 2 のタイミングを設定
	?	送信パラメータ参照	BLACK1, 2 のタイミングを問い合わせ
		ERROR	HD または 525i/59.94、525p/59.94、625i/50、625p/50 のときに、BLACK1, 2 のタイミングを問い合わせ
BLACK12:TIMING:V-PHASE	±1124 (※1)	OK	垂直方向の BLACK1, 2 のタイミングを設定 [ライン]
	?	送信パラメータ参照	垂直方向の BLACK1, 2 のタイミングを問い合わせ
BLACK12:TIMING:H-PHASE:DOT	±4124 (※1)	OK	水平方向の BLACK1, 2 のタイミングを設定 [ドット]
	?	送信パラメータ参照	水平方向の BLACK1, 2 のタイミングを問い合わせ
BLACK12:TIMING:H-PHASE:US	?	±63.9814(※1)	水平方向の BLACK1, 2 のタイミングを問い合わせ [μs]
BLACK34:TIMING:F-PHASE	±5 (※1)	OK	BLACK3, 4 のタイミングを設定 [フレーム]
		ERROR	HD または 525i/59.94、525p/59.94、625i/50、625p/50 のときに、BLACK3, 4 のタイミングを設定
	?	送信パラメータ参照	BLACK3, 4 のタイミングを問い合わせ
		ERROR	HD または 525i/59.94、525p/59.94、625i/50、625p/50 のときに、BLACK3, 4 のタイミングを問い合わせ
BLACK34:TIMING:V-PHASE	±1124 (※1)	OK	垂直方向の BLACK3, 4 のタイミングを設定 [ライン]
	?	送信パラメータ参照	垂直方向の BLACK3, 4 のタイミングを問い合わせ
BLACK34:TIMING:H-PHASE:DOT	±4124 (※1)	OK	水平方向の BLACK3, 4 のタイミングを設定 [ドット]
	?	送信パラメータ参照	水平方向の BLACK3, 4 のタイミングを問い合わせ
BLACK34:TIMING:H-PHASE:US	?	±63.9814(※1)	水平方向の BLACK3, 4 のタイミングを問い合わせ [μs]
BLACK56:TIMING:F-PHASE	±5 (※1)	OK	BLACK5, 6 のタイミングを設定 [フレーム]
		ERROR	HD または 525i/59.94、525p/59.94、625i/50、625p/50 のときに、BLACK5, 6 のタイミングを設定
	?	送信パラメータ参照	BLACK5, 6 のタイミングを問い合わせ
		ERROR	HD または 525i/59.94、525p/59.94、625i/50、625p/50 のときに、BLACK5, 6 のタイミングを問い合わせ
BLACK56:TIMING:V-PHASE	±1124 (※1)	OK	垂直方向の BLACK5, 6 のタイミングを設定 [ライン]
	?	送信パラメータ参照	垂直方向の BLACK5, 6 のタイミングを問い合わせ
BLACK56:TIMING:H-PHASE:DOT	±4124 (※1)	OK	水平方向の BLACK5, 6 のタイミングを設定 [ドット]
	?	送信パラメータ参照	水平方向の BLACK5, 6 のタイミングを問い合わせ
BLACK56:TIMING:H-PHASE:US	?	±63.9814(※1)	水平方向の BLACK5, 6 のタイミングを問い合わせ [μs]

※1 入力フォーマットによって異なる値となります。詳細は本体の取扱説明書を参照してください。

3. TELNET によるコントロール

表 3-5 SDI コマンド

エンベデッドオーディオのオーディオグループ 2、およびオーディオグループ 4 を設定するときは、あらかじめパネル設定から ENBEDDED AUDIO 項目の GROUP 2 SET にある EQUAL TO G1、および GROUP 4 SET にある EQUAL TO G3 を OFF にしてください。

コマンド	送信パラメータ	応答パラメータ	説明
SDI:TIMING:V	±1124	OK	垂直方向のタイミングを設定 [ライン]
	?	送信パラメータ参照	垂直方向のタイミングを問い合わせ
SDI:TIMING:H-PHASE:DOT	±4124	OK	水平方向のタイミングを設定 [ドット]
	?	送信パラメータ参照	水平方向のタイミングを問い合わせ
SDI:TIMING:H-PHASE:US	?	±63.9629	水平方向のタイミングを問い合わせ [μs]
SDI:AUDIO:GROUP1	OFF	OK	オーディオグループ 1 を出力しない
	ON	OK	オーディオグループ 1 を出力する
		ALL 24bit RESOLUTION	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが 24 ビット のとき、すべてのオーディオグループを出力 (※1)
	?	送信パラメータ参照	オーディオグループ 1 のオンオフを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2	OFF	OK	オーディオグループ 2 を出力しない
	ON	OK	オーディオグループ 2 を出力する
		ALL 24bit RESOLUTION	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが 24 ビット のとき、すべてのオーディオグループを出力 (※1)
	?	送信パラメータ参照	オーディオグループ 2 のオンオフを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3	OFF	OK	オーディオグループ 3 を出力しない
	ON	OK	オーディオグループ 3 を出力する
		ALL 24bit RESOLUTION	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが 24 ビット のとき、すべてのオーディオグループを出力 (※1)
	?	送信パラメータ参照	オーディオグループ 3 のオンオフを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP4	OFF	OK	オーディオグループ 4 を出力しない
	ON	OK	オーディオグループ 4 を出力する
		ALL 24bit RESOLUTION	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが 24 ビット のとき、すべてのオーディオグループを出力 (※1)
	?	送信パラメータ参照	オーディオグループ 4 のオンオフを問い合わせ
EB (LT 443D 相似コマンド)	0000	OK	オーディオを G1=OFF G2=OFF G3=OFF G4=OFF に設定
	0001	OK	オーディオを G1=OFF G2=OFF G3=OFF G4= ON に設定
	0010	OK	オーディオを G1=OFF G2=OFF G3= ON G4=OFF に設定
	0011	OK	オーディオを G1=OFF G2=OFF G3= ON G4= ON に設定
	0100	OK	オーディオを G1=OFF G2= ON G3=OFF G4=OFF に設定
	0101	OK	オーディオを G1=OFF G2= ON G3=OFF G4= ON に設定
	0110	OK	オーディオを G1=OFF G2= ON G3= ON G4=OFF に設定
	0111	OK	オーディオを G1=OFF G2= ON G3= ON G4= ON に設定
	1000	OK	オーディオを G1= ON G2=OFF G3=OFF G4=OFF に設定

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	1001	OK	オーディオを G1= ON G2=OFF G3=OFF G4= ON に設定
	1010	OK	オーディオを G1= ON G2=OFF G3= ON G4=OFF に設定
	1011	OK	オーディオを G1= ON G2=OFF G3= ON G4= ON に設定
	1100	OK	オーディオを G1= ON G2= ON G3=OFF G4=OFF に設定
	1101	OK	オーディオを G1= ON G2= ON G3=OFF G4= ON に設定
	1110	OK	オーディオを G1= ON G2= ON G3= ON G4=OFF に設定
	1111	OK	オーディオを G1= ON G2= ON G3= ON G4= ON に設定
		ALL 24bit RESOLUTION	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが24ビットのとき、すべてのオーディオグループを出力 (※1)
	?	送信パラメータ参照	オーディオのオンオフを問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
SDI: AUDIO: GROUP1: RESOLUTION	24	OK	オーディオグループ1の分解能を24ビットに設定
		ALL 24bit RESOLUTION	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが出力されているとき、すべてのオーディオグループを24ビットに設定 (※1)
	20	OK	オーディオグループ1の分解能を20ビットに設定
	?	送信パラメータ参照	オーディオグループ1の分解能を問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP1: EMPHASIS	50/15	OK	オーディオグループ1のプリエンファシスモードを50/15に設定
	CCITT	OK	オーディオグループ1のプリエンファシスモードをCCITTに設定
	OFF	OK	オーディオグループ1のプリエンファシスモードをOFFに設定
	?	送信パラメータ参照	オーディオグループ1のプリエンファシスモードを問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP1: CH1: FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH1 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH1 の周波数を400Hzに設定
	800	OK	オーディオ CH1 の周波数を800Hzに設定
	1k	OK	オーディオ CH1 の周波数を1kHzに設定
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH1 の周波数を問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP1: CH1: LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH1 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH1 のレベルを問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP1: CH1: CLICK	1~4	OK	オーディオ CH1 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH1 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH1 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP1: CH2: EQUAL-CH1	OFF	OK	オーディオ CH1 の設定を CH2 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH1 の設定を CH2 に適用する
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH1 の設定を CH2 に適用するかどうか問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP1: CH2: FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH2 の周波数を設定しない

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	400	OK	オーディオ CH2 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH2 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH2 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH2 の周波数を問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH2:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH2 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH2 のレベルを問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH2:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH2 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH2 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH2 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH3:EQUAL-CH1	OFF	OK	オーディオ CH1 の設定を CH3 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH1 の設定を CH3 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH1 の設定を CH3 に適用するかどうか問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH3:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH3 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH3 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH3 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH3 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH3 の周波数を問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH3:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH3 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH3 のレベルを問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH3:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH3 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH3 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH3 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH4:EQUAL-CH1	OFF	OK	オーディオ CH1 の設定を CH4 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH1 の設定を CH4 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH1 の設定を CH4 に適用するかどうか問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH4:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH4 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH4 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH4 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH4 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH4 の周波数を問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH4:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH4 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH4 のレベルを問い合わせ
SD1:AUDIO:GROUP1:CH4:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH4 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH4 にクリックを挿入しない

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH4 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:RESOLUTION	24	OK	オーディオグループ 2 の分解能を 24 ビットに設定
		ALL 24bit RESO LUTION	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが出力されているとき、すべてのオーディオグループを 24 ビットに設定 (※1)
	20	OK	オーディオグループ 2 の分解能を 20 ビットに設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオグループ 2 の分解能を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:EMPHASIS	50/15	OK	オーディオグループ 2 のプリエンファシスモードを 50/15 に設定
	CCITT	OK	オーディオグループ 2 のプリエンファシスモードを CCITT に設定
	OFF	OK	オーディオグループ 2 のプリエンファシスモードを OFF に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオグループ 2 のプリエンファシスモードを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH5:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH5 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH5 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH5 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH5 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH5 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH5:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH5 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH5 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH5:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH5 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH5 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH5 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH6:EQUAL-CH5	OFF	OK	オーディオ CH5 の設定を CH6 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH5 の設定を CH6 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH5 の設定を CH6 に適用するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH6:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH6 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH6 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH6 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH6 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH6 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH6:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH6 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH6 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH6:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH6 に設定秒数ごとにクリックを挿入

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	OFF	OK	オーディオ CH6 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH6 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH7:EQUAL-CH5	OFF	OK	オーディオ CH5 の設定を CH7 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH5 の設定を CH7 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH5 の設定を CH7 に適用するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH7:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH7 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH7 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH7 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH7 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH7 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH7:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH7 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH7 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH7:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH7 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH7 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH7 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH8:EQUAL-CH5	OFF	OK	オーディオ CH5 の設定を CH8 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH5 の設定を CH8 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH5 の設定を CH8 に適用するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH8:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH8 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH8 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH8 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH8 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH8 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH8:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH8 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH8 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP2:CH8:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH8 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH8 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH8 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:RESOLUTION	24	OK	オーディオグループ 3 の分解能を 24 ビットに設定
	ALL 24bit RESOLUTION	OK	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが出力されているとき、すべてのオーディオグループを 24 ビットに設定 (※1)
	20	OK	オーディオグループ 3 の分解能を 20 ビットに設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオグループ 3 の分解能を問い合わせ

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
SDI:AUDIO:GROUP3:EMPHASIS	50/15	OK	オーディオグループ3のプリエンファシスモードを50/15に設定
	CCITT	OK	オーディオグループ3のプリエンファシスモードをCCITTに設定
	OFF	OK	オーディオグループ3のプリエンファシスモードをOFFに設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオグループ3のプリエンファシスモードを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH9:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH9 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH9 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH9 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH9 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH9 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH9:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH9 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH9 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH9:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH9 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH9 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH9 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH10:EQUAL-CH9	OFF	OK	オーディオ CH9 の設定を CH10 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH9 の設定を CH10 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH9 の設定を CH10 に適用するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH10:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH10 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH10 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH10 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH10 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH10 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH10:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH10 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH10 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH10:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH10 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH10 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH10 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH11:EQUAL-CH9	OFF	OK	オーディオ CH9 の設定を CH11 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH9 の設定を CH11 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH9 の設定を CH11 に適用するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH11:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH11 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH11 の周波数を 400Hz に設定

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	800	OK	オーディオ CH11 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH11 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH11 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH11:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH11 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH11 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH11:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH11 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH11 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH11 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH12:EQUAL-CH9	OFF	OK	オーディオ CH9 の設定を CH12 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH9 の設定を CH12 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH9 の設定を CH12 に適用するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH12:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH12 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH12 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH12 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH12 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH12 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH12:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH12 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH12 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP3:CH12:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH12 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH12 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH12 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP4:RESOLUTION	24	OK	オーディオグループ 4 の分解能を 24 ビットに設定
		ALL 24bit RESOLUTION	525i/59.94 ですべてのオーディオグループが出力されているとき、すべてのオーディオグループを 24 ビットに設定 (※1)
	20	OK	オーディオグループ 4 の分解能を 20 ビットに設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオグループ 4 の分解能を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP4:EMPHASIS	50/15	OK	オーディオグループ 4 のプリエンファシスモードを 50/15 に設定
	CCITT	OK	オーディオグループ 4 のプリエンファシスモードを CCITT に設定
	OFF	OK	オーディオグループ 4 のプリエンファシスモードを OFF に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオグループ 4 のプリエンファシスモードを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP4:CH13:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH13 の周波数を設定しない

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	400	OK	オーディオ CH13 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH13 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH13 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH13 の周波数を問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH13: LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH13 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH13 のレベルを問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH13: CLICK	1~4	OK	オーディオ CH13 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH13 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH13 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH14: EQUAL-CH13	OFF	OK	オーディオ CH13 の設定を CH14 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH13 の設定を CH14 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH13 の設定を CH14 に適用するかどうか問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH14: FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH14 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH14 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH14 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH14 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH14 の周波数を問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH14: LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH14 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH14 のレベルを問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH14: CLICK	1~4	OK	オーディオ CH14 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH14 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH14 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH15: EQUAL-CH13	OFF	OK	オーディオ CH13 の設定を CH15 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH13 の設定を CH15 に適用する
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH13 の設定を CH15 に適用するかどうか問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH15: FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH15 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH15 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH15 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH15 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH15 の周波数を問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH15: LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH15 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ 参照	オーディオ CH15 のレベルを問い合わせ
SDI: AUDIO: GROUP4: CH15: CLICK	1~4	OK	オーディオ CH15 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH15 にクリックを挿入しない

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信パラメータ	応答パラメータ	説明
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH15 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP4:CH16:EQUAL-CH13	OFF	OK	オーディオ CH13 の設定を CH16 に適用しない
	ON	OK	オーディオ CH13 の設定を CH16 に適用する
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH13 の設定を CH16 に適用するかどうか問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP4:CH16:FREQUENCY	SILENCE	OK	オーディオ CH16 の周波数を設定しない
	400	OK	オーディオ CH16 の周波数を 400Hz に設定
	800	OK	オーディオ CH16 の周波数を 800Hz に設定
	1k	OK	オーディオ CH16 の周波数を 1kHz に設定
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH16 の周波数を問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP4:CH16:LEVEL	-60~0	OK	オーディオ CH16 のレベルを設定 [dB]
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH16 のレベルを問い合わせ
SDI:AUDIO:GROUP4:CH16:CLICK	1~4	OK	オーディオ CH16 に設定秒数ごとにクリックを挿入
	OFF	OK	オーディオ CH16 にクリックを挿入しない
	?	送信パラメータ参照	オーディオ CH16 にクリックを挿入するかどうか問い合わせ
SDI:Y	OFF	OK	Y 信号を表示しない
	ON	OK	Y 信号を表示する
	?	送信パラメータ参照	Y 信号を表示するかどうか問い合わせ
SDI:Cb	OFF	OK	Cb 信号を表示しない
	ON	OK	Cb 信号を表示する
	?	送信パラメータ参照	Cb 信号を表示するかどうか問い合わせ
SDI:Cr	OFF	OK	Cr 信号を表示しない
	ON	OK	Cr 信号を表示する
	?	送信パラメータ参照	Cr 信号を表示するかどうか問い合わせ
SDI:SAFETY:90%	OFF	OK	90%セーフティマーカーを表示しない
	ON	OK	90%セーフティマーカーを表示する
	?	送信パラメータ参照	90%セーフティマーカーを表示するかどうか問い合わせ
SF90 (LT 443D 相似コマンド)	0	OK	90%セーフティマーカーを表示しない
	1	OK	90%セーフティマーカーを表示する
	?	送信パラメータ参照	90%セーフティマーカーを表示するかどうか問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
SDI:SAFETY:80%	OFF	OK	80%セーフティマーカーを表示しない
	ON	OK	80%セーフティマーカーを表示する
	?	送信パラメータ参照	80%セーフティマーカーを表示するかどうか問い合わせ
SF80	0	OK	80%セーフティマーカーを表示しない

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
(LT 443D 相似コマンド)	1	OK	80%セーフティマーカを表示する
	?	送信パラメータ 参照	80%セーフティマーカを表示するかどうか問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
SDI:SAFETY:4_3	OFF	OK	4:3 アスペクトマーカを表示しない
		ERROR	SD のとき、4:3 アスペクトマーカを非表示に設定
	ON	OK	4:3 アスペクトマーカを表示する
		ERROR	SD のとき、4:3 アスペクトマーカを表示に設定
	?	送信パラメータ 参照	4:3 アスペクトマーカを表示するかどうか問い合わせ
		ERROR	SD のとき、4:3 アスペクトマーカの表示を問い合わせ
SF4_3 (LT 443D 相似コマンド)	0	OK	4:3 アスペクトマーカを表示しない
		ERROR	SD のとき、4:3 アスペクトマーカを非表示に設定
	1	OK	4:3 アスペクトマーカを表示する
		ERROR	SD のとき、4:3 アスペクトマーカを表示に設定
	?	送信パラメータ 参照	4:3 アスペクトマーカを表示するかどうか問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
		ERROR	SD のとき、4:3 アスペクトマーカの表示を問い合わせ
SDI:ID:CHARACTER	! "\$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[\]^_`	OK	ID キャラクタを作成 (20 文字まで) ※「:」「→」「←」「◀」は入力できません。 ※自動的に末尾に「◀」が付きます。 ※スペースを入力するには「~」を入力します。
		送信パラメータ 参照	ID キャラクタを問い合わせ ※「◀」は「<-」で表示されます。 ※「→」は「>」で表示されます。 ※「←」は「a」で表示されます。
SDI:ID:POSITION:H	0~1919	OK	ID キャラクタの水平位置を設定
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタの水平位置を問い合わせ
SDI:ID:POSITION:V	0~1079	OK	ID キャラクタの垂直位置を設定
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタの垂直位置を問い合わせ
SDI:ID:SIZE	1	OK	ID キャラクタ 1 文字のサイズを 32×32 ドットに設定
	2	OK	ID キャラクタ 1 文字のサイズを 64×64 ドットに設定
	4	OK	ID キャラクタ 1 文字のサイズを 128×128 ドットに設定
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタのサイズを問い合わせ
SDI:ID:LEVEL	100	OK	ID キャラクタの輝度を 100%に設定
	75	OK	ID キャラクタの輝度を 75%に設定
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタの輝度を問い合わせ
SDI:ID:BLINK:ON_TIME	1~9	OK	ID キャラクタの点灯時間を設定 [sec]

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタの点灯時間を問い合わせ
SDI:ID:BLINK:OFF_TIME	1~9	OK	ID キャラクタの消灯時間を設定 [sec]
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタの消灯時間を問い合わせ
SDI:ID:BLINK	OFF	OK	ID キャラクタを点滅しない
	ON	OK	ID キャラクタを点滅する
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタを点滅するかどうか問い合わせ
SDI:ID	OFF	OK	ID キャラクタを表示しない
	ON	OK	ID キャラクタを表示する
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタを表示するかどうか問い合わせ
ID (LT 443D 相似コマンド)	0	OK	ID キャラクタを表示しない
	1	OK	ID キャラクタを表示する
	?	送信パラメータ 参照	ID キャラクタを表示するかどうか問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
SDI:LOGO:POSITION:H	0~1919	OK	ロゴマークの水平位置を設定
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマークの水平位置を問い合わせ
SDI:LOGO:POSITION:V	0~1079	OK	ロゴマークの垂直位置を設定
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマークの垂直位置を問い合わせ
SDI:LOGO:LEVEL3	40~3AC	OK	ロゴマーク LEVEL3 の輝度を設定
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマーク LEVEL3 の輝度を問い合わせ
SDI:LOGO:LEVEL2	40~3AC	OK	ロゴマーク LEVEL2 の輝度を設定
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマーク LEVEL2 の輝度を問い合わせ
SDI:LOGO:LEVEL1	40~3AC	OK	ロゴマーク LEVEL1 の輝度を設定
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマーク LEVEL1 の輝度を問い合わせ
SDI:LOGO:LEVEL0	40~3AC	OK	ロゴマーク LEVEL0 の輝度を設定
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマーク LEVEL0 の輝度を問い合わせ
SDI:LOGO:BACKGROUND	OFF	OK	ロゴマーク LEVEL0 を表示する
	ON	OK	ロゴマーク LEVEL0 を表示しない
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマーク LEVEL0 を表示するかどうか問い合わせ
SDI:LOGO	OFF	OK	ロゴマークを表示しない
	ON	OK	ロゴマークを表示する
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマークを表示するかどうか問い合わせ
LG	0	OK	ロゴマークを表示しない

3. TELNET によるコントロール

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
(LT 443D 相似コマンド)	1	OK	ロゴマークを表示する
	?	送信パラメータ 参照	ロゴマークを表示するかどうか問い合わせ (コマンドとパラメータ間のスペース不要)
SDI:PATTERN_SCROLL: DIRECTION	UP&RIGHT	OK	パターンスクロールの方向を上方向と右方向に設定
	UP	OK	パターンスクロールの方向を上方向に設定
	UP&LEFT	OK	パターンスクロールの方向を上方向と左方向に設定
	LEFT	OK	パターンスクロールの方向を左方向に設定
	DOWN&LEFT	OK	パターンスクロールの方向を下方向と左方向に設定
	DOWN	OK	パターンスクロールの方向を下方向に設定
	DOWN&RIGHT	OK	パターンスクロールの方向を下方向と右方向に設定
	RIGHT	OK	パターンスクロールの方向を右方向に設定
?	送信パラメータ 参照	パターンスクロールの方向を問い合わせ	
SDI:PATTERN_SCROLL:SPEED:H	0~254 (2 ステップ)	OK	パターンスクロールの水平方向のスピードを設定 [DOT]
	?	送信パラメータ 参照	パターンスクロールの水平方向のスピードを問い合わせ
SDI:PATTERN_SCROLL:SPEED:V	0~255	OK	パターンスクロールの垂直方向のスピードを設定 [DOT]
	?	送信パラメータ 参照	パターンスクロールの垂直方向のスピードを問い合わせ
SDI:PATTERN_SCROLL	OFF	OK	パターンスクロールをしない
	ON	OK	パターンスクロールをする
	?	送信パラメータ 参照	パターンスクロールをするかどうか問い合わせ
SDI:PATTERN_CHANGE:SPEED	1~255	OK	パターンチェンジの切り換え時間を設定 [sec]
	?	送信パラメータ 参照	パターンチェンジの切り換え時間を問い合わせ
SDI:PATTERN_CHANGE	OFF	OK	パターンチェンジをしない
		OPERATION IS INVALID	LIPSYNC が ON のとき、パターンチェンジをしないに設定
	ON	OK	パターンチェンジをする
		OPERATION IS INVALID	LIPSYNC が ON のとき、パターンチェンジをするに設定
	?	送信パラメータ 参照	パターンチェンジをするかどうか問い合わせ

※1 出力フォーマットが 525i/59.94 のときは、すべてのオーディオグループ (16ch) を 24 ビットで出力できません。エラーメッセージが表示されたときは、分解能を 20 ビットにするか、オーディオ信号の出力を 1 グループ以上オフにしてください。

3. TELNET によるコントロール

表 3-6 WCLK コマンド

コマンド	送信 パラメータ	応答 パラメータ	説明
WCLK:LEVEL	5VCMOS	OK	出力レベルを 5V に設定
	1VP-P	OK	出力レベルを 1Vp-p に設定
	?	送信パラメータ 参照	出力レベルを問い合わせ
WCLK:TIMING	±511	OK	タイミングを設定 [1AES/EBU フレーム / 511]
	?	送信パラメータ 参照	タイミングを問い合わせ

4. SNMP によるコントロール

SNMP (Simple Network Management Protocol) を使用して、SNMP マネージャから本体の設定を確認できます。また、ファンが停止したときやアクセスモードが変更された場合などに、本体から SNMP マネージャへ TRAP で通知します。

SNMP によるコントロールを使用するときは、HTTP ACCESS MODE と TELNET ACCESS MODE の両方を OFF にしてください。また、本体のキーロック設定を ON にしてください。

4.1 操作方法

1. 本体で IP アドレスを設定します。

設定は、UTILITY MENU の ETHERNET SET から行うことができます。

設定値は、必要に応じてネットワーク管理者に問い合わせてください。

設定値は、電源を再投入したときに有効となります。

2. 本体の電源を再投入します。

IP アドレスの値が有効になります。

3. 本体の ETHERNET 端子にケーブルを接続します。

IP アドレスを設定した後は、速やかに ETHERNET 端子にケーブルを接続してください。

ETHERNET 端子にケーブルを接続せず、開放したままにしておくと、電源投入後の初期化に時間がかかる場合があります。

4. SNMP マネージャを起動します。

SNMP によるコントロールには、SNMP マネージャが必要です。(本製品にアプリケーションソフトは付属していません)

SNMP マネージャの使用方法については、お使いの SNMP マネージャの取扱説明書をご覧ください。

コミュニティ名は以下のとおりです。

Read Community: LDRUser

Write Community: LDRAdm

5. SNMP マネージャから SET 操作を行い、下記項目に SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。

1. 3. 6. 1. 4. 1. leader (20111). 1t4400 (9). 1t4400ST1 (1). 19trapTBL (10). 19trapManagerIp (2). 0

TRAP 情報を取得する際にこの操作を行ってください。

6. 本体を再起動します。

本体起動時に SNMP マネージャで、標準 TRAP 「ColdStart」 が受信できることを確認してください。

7. キーロックを設定します。

SNMP 等のネットワーク環境からコントロールするときは、本体のキーロック設定を ON にしてください。キーロック設定は、パネル操作のほか、SNMP マネージャからの SET 操作でも ON にできます。

キーロック設定が変更された場合は、変更内容を TRAP で通知します。

4. SNMP によるコントロール

- ※ SNMP バージョンは、SNMPv1 に対応しています。
- ※ SMI 定義は以下のとおりです。

```
IMPORTS
MODULE-IDENTITY, OBJECT-TYPE, NOTIFICATION-TYPE, enterprises
    FROM SNMPv2-SMI
DisplayString
    FROM SNMPv2-TC
OBJECT-GROUP, MODULE-COMPLIANCE
    FROM SNMPv2-Conf;
```

4.2 拡張 MIB

● 拡張 MIB 構造

```
1t4400          OBJECT IDENTIFIER ::= { leader 9 }
1t4400ST1       OBJECT IDENTIFIER ::= { 1t4400 1 }
19utilityTBL    OBJECT IDENTIFIER ::= { 1t4400ST1 1 }
19patternTBL    OBJECT IDENTIFIER ::= { 1t4400ST1 8 }
19statusTBL     OBJECT IDENTIFIER ::= { 1t4400ST1 9 }
19trapTBL       OBJECT IDENTIFIER ::= { 1t4400ST1 10 }
```

● 拡張 MIB ファイルについて

1t4400.my を PC にコピーしてお使いください。使用方法については、お使いの SNMP マネージャの取扱説明書をご覧ください。

● ACCESS について

表中 ACCESS の意味は、以下のとおりです。

```
RO :           情報の読み込みが可能。(Read Only)
R/W :          情報の読み書きが可能。(Read / Write)
```

4. SNMP によるコントロール

表 4-1 I9utilityTBL (1) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
I9utIBrightness	I9utilityTBL.1	INTEGER	RO	0	HIGH
				1	MID
				2	LOW
				3	OFF
I9utILightTime	I9utilityTBL.2	INTEGER	RO	0	ALL
				1~10	-
I9utIKeylock	I9utilityTBL.3	INTEGER	R/W	0	OFF
				1	ON
I9utIPoweronRecall	I9utilityTBL.4	INTEGER	RO	0	OFF
				1	ON
I9utIPoweronRecallMedia	I9utilityTBL.5	INTEGER	RO	0	INT
				1	EXT
I9utIPoweronRecallNumber	I9utilityTBL.6	INTEGER	RO	0~9	-
I9utIEthernetHttp	I9utilityTBL.7	INTEGER	R/W	0	OFF
				1	READ ONLY
I9utIEthernetTelnet	I9utilityTBL.8	INTEGER	R/W	0	OFF
				1	READ ONLY
				2	ON

表 4-2 I9patternTBL (8) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
I9pattern	I9patternTBL.1	INTEGER	RO	0	COLOR BAR 100%
				1	COLOR BAR 75%
				2	MULTI COLOR BAR 100%
				3	MULTI COLOR BAR 75%
				4	MULTI COLOR BAR (+1)
				5	SMPTE COLOR BAR
				6	EBU COLOR BAR
				7	BBC COLOR BAR
				8	CHECK FIELD
				1000	COLOR BAR 100% (LIPSYNC = ON)
				1001	COLOR BAR 75% (LIPSYNC = ON)
				1002	MULTI COLOR BAR 100% (LIPSYNC = ON)
				1003	MULTI COLOR BAR 75% (LIPSYNC = ON)
				1004	MULTI COLOR BAR (+1) (LIPSYNC = ON)
1005	SMPTE COLOR BAR (LIPSYNC = ON)				
1006	EBU COLOR BAR (LIPSYNC = ON)				

4. SNMP によるコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
				1007	BBC COLOR BAR (LIPSYNC = ON)

表 4-3 I9statusTBL (9) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
I9statusGenlock	I9statusTBL.1	INTEGER	R0	0	INT
				1	STAY in SYNC
				2	EXT 1125i/60
				3	EXT 1125i/59.94
				4	EXT 1125i/50
				5	EXT 1125p/30
				6	EXT 1125p/29.97
				7	EXT 1125p/25
				8	EXT 1125p/24
				9	EXT 1080p/23.98
				10	EXT 1125PsF/24
				11	EXT 1125PsF/23.98
				12	EXT 750p/60
				13	EXT 750p/59.94
				14	EXT 750p/50
				15	EXT 750p/30
				16	EXT 750p/29.97
				17	EXT 750p/25
				18	EXT 750p/24
				19	EXT 750p/23.98
				20	EXT NTSC BB
				21	EXT NTSC BB+Ref
				22	EXT NTSC BB+ID
				23	EXT NTSC BB+Ref+ID
				24	EXT 525i/59.94
				25	EXT 525p/59.94
				26	EXT PAL BB
				27	EXT PAL BB+Ref
				28	EXT 625i/50
29	EXT 625p/50				
I9statusBlk12	I9statusTBL.2	INTEGER	R0	0	1080i/60
				1	1080i/59.94
				2	1080i/50
				3	1080p/30
				4	1080p/29.97
				5	1080p/25
				6	1080p/24
				7	1080p/23.98
				8	1080PsF/24
9	1080PsF/23.98				

4. SNMP によるコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
				20	720p/60
				21	720p/59.94
				22	720p/50
				23	720p/30
				24	720p/29.97
				25	720p/25
				26	720p/24
				27	720p/23.98
				30	NTSC BB
				31	NTSC BB+REF
				32	NTSC BB+ID
				33	NTSC BB+REF+ID
				34	NTSC BB+SETUP
				35	NTSC BB+S+REF
				36	NTSC BB+S+ID
				37	NTSC BB+S+R+ID
				38	525i/59.94
				39	525p/59.94
				40	PAL BB
				41	PAL BB+REF
42	625i/50				
43	625p/50				
I9statusBlk34	I9statusTBL.3	INTEGER	R0	0	1080i/60
				1	1080i/59.94
				2	1080i/50
				3	1080p/30
				4	1080p/29.97
				5	1080p/25
				6	1080p/24
				7	1080p/23.98
				8	1080PsF/24
				9	1080PsF/23.98
				20	720p/60
				21	720p/59.94
				22	720p/50
				23	720p/30
				24	720p/29.97
				25	720p/25
				26	720p/24
				27	720p/23.98
				30	NTSC BB
				31	NTSC BB+REF
32	NTSC BB+ID				
33	NTSC BB+REF+ID				
34	NTSC BB+SETUP				

4. SNMP によるコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
				35	NTSC BB+S+REF
				36	NTSC BB+S+ID
				37	NTSC BB+S+R+ID
				38	525i/59.94
				39	525p/59.94
				40	PAL BB
				41	PAL BB+REF
				42	625i/50
				43	625p/50
l9statusBlk56	l9statusTBL.4	INTEGER	RO	0	1080i/60
				1	1080i/59.94
				2	1080i/50
				3	1080p/30
				4	1080p/29.97
				5	1080p/25
				6	1080p/24
				7	1080p/23.98
				8	1080PsF/24
				9	1080PsF/23.98
				20	720p/60
				21	720p/59.94
				22	720p/50
				23	720p/30
				24	720p/29.97
				25	720p/25
				26	720p/24
				27	720p/23.98
				30	NTSC BB
				31	NTSC BB+REF
				32	NTSC BB+ID
				33	NTSC BB+REF+ID
				34	NTSC BB+SETUP
				35	NTSC BB+S+REF
				36	NTSC BB+S+ID
				37	NTSC BB+S+R+ID
				38	525i/59.94
				39	525p/59.94
				40	PAL BB
				41	PAL BB+REF
				42	625i/50
				43	625p/50
l9statusSdi	l9statusTBL.5	INTEGER	RO	0	1080i/60
				1	1080i/59.94
				2	1080i/50
				3	1080p/30

4. SNMP によるコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
				4	1080p/29.97
				5	1080p/25
				6	1080p/24
				7	1080p/23.98
				8	1080PsF/24
				9	1080PsF/23.98
				20	720p/60
				21	720p/59.94
				22	720p/50
				23	720p/30
				24	720p/29.97
				25	720p/25
				26	720p/24
				27	720p/23.98
				30	525i/59.94
40	625i/50				
I9statusSdiTimingV	I9statusTBL. 6	INTEGER	R0	±1124	-
I9statusSdiTimingH	I9statusTBL. 7	INTEGER	R0	±4124	-
I9statusSdiEMBAudio	I9statusTBL. 8	INTEGER	R0	0	<input type="checkbox"/> G1 <input type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4
				1	<input type="checkbox"/> G1 <input type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input checked="" type="checkbox"/> G4
				2	<input type="checkbox"/> G1 <input type="checkbox"/> G2 <input checked="" type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4
				3	<input type="checkbox"/> G1 <input type="checkbox"/> G2 <input checked="" type="checkbox"/> G3 <input checked="" type="checkbox"/> G4
				4	<input type="checkbox"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4
				5	<input type="checkbox"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input checked="" type="checkbox"/> G4
				6	<input type="checkbox"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input checked="" type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4
				7	<input type="checkbox"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input checked="" type="checkbox"/> G3 <input checked="" type="checkbox"/> G4
				8	<input checked="" type="checkbox"/> G1 <input type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4
				9	<input checked="" type="checkbox"/> G1 <input type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input checked="" type="checkbox"/> G4
				10	<input checked="" type="checkbox"/> G1 <input type="checkbox"/> G2 <input checked="" type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4
				11	<input checked="" type="checkbox"/> G1 <input type="checkbox"/> G2 <input checked="" type="checkbox"/> G3 <input checked="" type="checkbox"/> G4
				12	<input checked="" type="checkbox"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4
				13	<input checked="" type="checkbox"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input checked="" type="checkbox"/> G4
				14	<input checked="" type="checkbox"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input checked="" type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4
				15	<input checked="" type="checkbox"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input checked="" type="checkbox"/> G3 <input checked="" type="checkbox"/> G4
I9statusSdiOutput	I9statusTBL. 9	INTEGER	R0	0	<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> Cb <input type="checkbox"/> Cr
				1	<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> Cb <input checked="" type="checkbox"/> Cr
				2	<input type="checkbox"/> Y <input checked="" type="checkbox"/> Cb <input type="checkbox"/> Cr
				3	<input type="checkbox"/> Y <input checked="" type="checkbox"/> Cb <input checked="" type="checkbox"/> Cr
				4	<input checked="" type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> Cb <input type="checkbox"/> Cr
				5	<input checked="" type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> Cb <input checked="" type="checkbox"/> Cr
				6	<input checked="" type="checkbox"/> Y <input checked="" type="checkbox"/> Cb <input type="checkbox"/> Cr
				7	<input checked="" type="checkbox"/> Y <input checked="" type="checkbox"/> Cb <input checked="" type="checkbox"/> Cr
I9statusSafetyArea90	I9statusTBL. 10	INTEGER	R0	0	OFF
				1	ON
I9statusSafetyArea80	I9statusTBL. 11	INTEGER	R0	0	OFF

4. SNMP によるコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
				1	ON
I9statusSafetyArea43	I9statusTBL. 12	INTEGER	RO	0	OFF
				1	ON
				-1	無効 (SD のとき)
I9statusIdCharacter	I9statusTBL. 13	INTEGER	RO	0	OFF
				1	ON
I9statusLogo	I9statusTBL. 14	INTEGER	RO	0	OFF
				1	ON
I9statusPTNscroll	I9statusTBL. 15	INTEGER	RO	0	OFF
				1	ON

表 4-4 I9trapTBL (10) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE	内容
I9trapStrTBL	I9trapTBL. 1	-	-	-	-
I9trapStrCnt	I9trapStrTBL. 1	INTEGER	RO	1~	拡張 TRAP 送出数
I9trapStrInfo	I9trapStrTBL. 2	OCTET STRING	RO	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	エラー発生時の 日時
I9trapStrFormat	I9trapStrTBL. 3	OCTET STRING	RO	NULL	-
I9trapStrErr	I9trapStrTBL. 4	OCTET STRING	RO	情報文字列	エラー情報
I9trapManagerIp	I9trapTBL. 2	IP ADDRESS	R/W	*.*.*.*	TRAP 送信先

4.3 Specific Trap

表 4-5 Specific Trap ID 一覧表

Specific Trap ID	内容	Specific Trap ID	内容
1	FAN_STOP	9	HTTP READ ONLY
2	FAN_RESTART	10	HTTP OFF
3	GENLOCK LOCKED (INT). [NO SIGNAL]	11	TELNET ON
4	GENLOCK SYNC ABSENT. [NO SIGNAL]	12	TELNET READ ONLY
5	GENLOCK BURST ABSENT. [INT]	13	TELNET OFF
6	GENLOCK BURST ABSENT. [FLYWHEEL]	14	LIPSYNC ON
7	KEY LOCK ON	15	LIPSYNC OFF
8	KEY LOCK OFF		

4.4 Variable Binding List

表 4-6 Index1

OID	leader (20111). It4400 (9). It4400ST1 (1). trapTBL (10). trapStrTBL (1). 1. 0
SYNTAX	Counter32
範囲	1~4294967295 (範囲を超えた場合はオーバーフローする)
内容	起動してからの Enterprise Trap の送出累計数

4. SNMP によるコントロール

表 4-7 Index2

OID	leader (20111). It4400(9). It4400ST1(1). trapTBL (10). trapStrTBL (1). 2. 0
SYNTAX	Octet String
範囲	最大 40 文字
内容	エラー発生時の日時 (LT4400 上の時間を送信します) YYYY/MM/DD hh:mm:ss (例 : 2004/07/15 11:30:11) YYYY = 年、MM = 月、DD = 日、hh = 時、mm = 分、ss = 秒

表 4-8 Index3

OID	leader (20111). It4400(9). It4400ST1(1). trapTBL (10). trapStrTBL (1). 3. 0
SYNTAX	Octet String
範囲	最大 40 文字
内容	NULL

表 4-9 Index4

OID	leader (20111). It4400(9). It4400ST1(1). trapTBL (10). trapStrTBL (1). 4. 0	
SYNTAX	Octet String	
範囲	最大 40 文字	
内容	エラー情報	
	FAN_STOP	FAN 停止の検出
	FAN_RESTART	FAN 再始動の検出
	GENLOCK LOCKED (INT). [NO SIGNAL]	NO SIGNAL により INTERNAL モードへの移行を検出
	GENLOCK SYNC ABSENT. [NO SIGNAL]	SYNC ABSENT を検出
	GENLOCK BURST ABSENT. [INT]	BURST ABSENT により INTERNAL モードへの移行を検出
	GENLOCK BURST ABSENT. [FLYWHEEL]	BURST ABSENT により FLYWHEEL モードへの移行を検出
	KEY LOCK ON	KEY LOCK ON 設定の検出
	KEY LOCK OFF	KEY LOCK OFF 設定の検出
	HTTP READ ONLY	HTTP READ ONLY 設定の検出
	HTTP OFF	HTTP OFF 設定の検出
	TELNET ON	TELNET ON 設定の検出
	TELNET READ ONLY	TELNET READ ONLY 設定の検出
	TELNET OFF	TELNET OFF 設定の検出
	LIPSYNC ON	LIPSYNC ON 設定の検出
LIPSYNC OFF	LIPSYNC OFF 設定の検出	

LEADER

リーダ一電子株式会社 <http://www.leader.co.jp>

本社・国内営業部 〒223-8505 横浜市港北区綱島東 2 丁目 6 番 33 号 (045) 541-2122 (代表)